

# 昭和44年度 学校保健統計調査結果

県統計課人口統計係

## 1 はじめに

幼児・児童・生徒の発育および健康状態を明らかにし、学校保健行政上の資料を得ることを目的として、毎年文部省所管のもとに学校保健統計調査を実施しているが、昭和44年度に行なつた調査の結果はつぎのとおりである。

なお、この調査を実施した学校は、幼稚園51園、小学校62校、中学校38校、高等学校22校の計173校で、県内幼稚園数、学校数1,083校に占める抽出率は、16%である。

また、この数値は概数であり、後日文部省の公表をもつて確定数となるのでご了承願います。

## 2 幼児・児童・生徒の発育状態

幼児・児童・生徒の体位は年々向上してきており、44年4月に行なわれた身長、体重、胸囲、座高の計測検査の結果をみても、全般的に前年より伸びてきている。

(表1)

しかし、これを全国平均に比較してみると、各数値とも全国水準に達しているのは幼稚園の5才児だけで、そ

表1 幼 児 ・ 児 童 ・ 生

区 分			小 学 校						
			6 (才)	7	8	9	10	11	
身長 (cm)	男	全 国	114.2	119.8	125.1	130.0	134.9	140.0	
		県	昭和44年	114.1	119.5	124.7	129.2	134.6	139.6
			43年	113.7	119.0	124.4	128.9	133.7	138.6
		比 較	0.4	0.5	0.3	0.3	0.9	1.0	
	女	全 国	113.4	119.0	124.2	129.7	135.7	142.1	
		県	昭和44年	113.2	118.6	123.6	128.9	134.8	141.4
43年			112.5	117.9	123.4	128.8	134.9	140.9	
	比 較	0.7	0.7	0.2	0.1	△0.1	0.5		
体重 (kg)	男	全 国	20.0	22.3	24.8	27.4	30.4	33.6	
		県	昭和44年	20.0	22.3	24.9	27.0	30.1	33.3
			43年	20.0	22.0	24.7	26.8	29.5	32.6
		比 較	0.0	0.3	0.2	0.2	0.6	0.9	
	女	全 国	19.5	21.8	24.3	27.2	30.8	35.2	
		県	昭和44年	19.7	21.8	24.3	27.0	30.4	35.1
43年			19.4	21.4	23.9	26.8	30.2	34.5	
	比 較	0.3	0.4	0.4	0.2	0.2	0.6		
胸 囲 (cm)	男	全 国	57.0	59.1	61.2	63.4	65.6	68.0	
		県	昭和44年	56.7	58.9	61.0	62.8	65.5	67.6
			43年	56.9	59.0	61.0	63.0	64.9	67.4
		比 較	△ 0.2	△ 0.1	0.0	△ 0.2	0.6	0.2	
	女	全 国	55.7	57.5	59.7	62.0	64.9	68.5	
		県	昭和44年	55.4	57.3	59.9	61.6	64.5	68.1
43年			55.5	57.5	59.6	61.7	64.6	67.9	
	比 較	△ 0.1	△ 0.2	0.3	0.1	△ 0.1	0.2		
座 高 (cm)	男	全 国	64.3	66.9	69.2	71.4	73.5	75.7	
		県	昭和44年	64.3	66.6	69.1	71.4	73.0	75.6
			43年	64.2	66.5	68.9	71.9	73.0	75.3
		比 較	0.1	0.1	0.2	△ 0.5	0.0	0.3	
	女	全 国	63.8	66.4	68.9	71.4	74.2	77.3	
		県	昭和44年	63.8	66.3	68.9	71.3	73.3	77.0
43年			63.5	66.2	69.6	70.9	73.7	76.8	
	比 較	0.3	0.1	0.3	0.4	△ 0.4	0.2		

のほかでは、体重の小学校6～8才、胸囲、座高の小学校低学年に一部みられるのみで、中学校、高等学校においては、全般的に全国平均より低くなっている現状である。

計測検査のうち、身長について年令、男女別に比較してみると、6～9才(1～4学年)までは男子が高く、10～12才(5学年～中学1学年)では逆に女子が高くなり、13才(中学2学年)を過ぎるとまた男子が高くなるという傾向を示している。また、年令間の伸びをみてみると、男子は12～15才、女子は9～12才で伸びが著しく、発育の最盛期がうかがえる。

### 3 幼児・児童・生徒の健康状態

#### (1) 一般検診

本年4月に実施した健康診断のうち、主な疾病異常をみると表2のとおりである。

#### ア むし歯

むし歯の被患率は前年同様各学校とも最も高く、幼稚園は90%台、小学校80%台、中学・高等学校は70%台を示しており、高学年になるにしたがい若干低くなつてきている。

#### イ 近視

幼稚園、小学校の男子を除いてはむし歯について被患率が高く、低学年より高学年になるほど高くなつており、男子よりも女子に近視が多い。

#### ウ ヘン桃せん肥大

低学年に多く、幼稚園・小学校では被患率8～9%台で、中学校6%台、高等学校3%台となつている。

#### (2) 結核検査

結核の被患率は、毎年あまり変動がなくその傾向をつかむのはむずかしいが、本年度の結果を昭和34年と

### 徒 の 体 位

(身長・体重・胸囲・座高)

中 学 校			高 等 学 校				幼 稚 園	
12	13	14	15	16	17	15	5 才	
146.5	153.6	160.0	164.7	166.7	167.6	166.5	109.2	
145.4	152.4	158.7	164.4	166.1	167.1	166.1	109.2	
145.4	152.7	158.8	163.5	165.4	166.6	166.3	109.1	
0.0	△ 0.3	△ 0.1	0.9	0.7	0.5	△ 0.2	0.1	
148.0	151.7	153.7	154.8	155.2	155.4	154.5	108.2	
146.9	150.6	152.8	154.6	154.8	154.9	154.6	108.3	
146.5	151.2	152.9	153.7	154.2	154.5	153.8	108.0	
0.4	△ 0.6	△ 0.1	0.9	0.6	0.4	0.8	0.3	
38.1	43.6	49.1	54.0	56.6	58.1	58.0	18.4	
37.5	42.8	48.0	53.9	56.1	58.1	57.2	18.5	
37.3	42.5	47.8	52.6	55.4	57.2	57.4	18.4	
0.2	0.3	0.2	0.3	0.7	0.9	△ 0.2	0.1	
40.2	44.6	47.8	50.0	51.3	51.8	51.9	18.0	
39.7	44.2	47.4	50.0	51.0	51.7	51.4	18.0	
39.3	43.7	47.3	49.2	50.8	51.5	51.9	18.0	
0.4	0.5	0.1	0.8	0.2	0.2	△ 0.5	0.0	
70.8	74.6	78.7	81.9	84.1	85.6	85.8	55.8	
70.5	74.4	77.9	81.3	83.6	85.1	84.8	56.0	
70.0	73.9	77.5	81.3	83.2	84.9	85.7	55.9	
0.5	0.5	0.2	0.0	0.4	0.2	△ 0.9	0.1	
72.8	76.1	78.6	80.2	81.2	81.7	82.3	54.4	
72.5	75.7	78.5	80.4	81.1	81.6	80.9	54.5	
71.8	75.2	78.0	79.5	80.9	81.5	83.6	54.6	
0.7	0.5	0.5	0.9	0.2	0.1	△ 2.7	△ 0.1	
78.8	82.3	85.7	88.5	89.6	90.1	89.7	61.9	
78.3	81.8	85.4	88.4	89.4	90.1	89.5	61.7	
78.2	81.6	85.2	88.1	89.2	89.7	89.7	61.7	
0.1	0.2	0.2	0.3	0.2	0.4	△ 0.2	0.0	
80.7	82.8	84.1	84.7	85.1	85.1	84.8	61.4	
80.2	82.3	83.9	84.8	85.3	85.2	84.2	61.4	
79.9	82.3	83.9	84.6	85.0	85.2	84.4	61.0	
0.5	0.0	0.0	0.2	0.3	0.0	0.2	0.4	

表2 主な疾病異常被患率 (単位%)

学校種別	性別	むし歯	へん桃せん肥	近視	胸部異状	色神異状	精神薄弱	結膜炎	蓄のう症	その他の鼻 いんとう疾患
幼稚園	男	90.5	9.7	1.1	2.0	—	—	1.4	—	—
	女	92.1	8.5	1.5	0.9	—	—	1.5	—	—
小学校	男	84.8	9.3	7.8	—	2.4	—	—	—	2.6
	女	84.3	8.4	10.0	—	—	—	1.4	—	2.2
中学校	男	73.9	6.3	13.2	—	3.7	2.7	—	—	—
	女	74.5	6.5	18.1	—	—	2.0	0.9	—	—
高等学校	男	71.5	3.0	33.4	—	3.8	—	—	2.2	—
	女	92.1	8.5	1.5	0.9	—	—	1.5	—	—

比して較みると、幼稚園の女子を除いて被患率は減少してきている。(表3)

(3) 寄生虫卵検査

回虫、十二指腸虫の卵保有者は、低学年に多くみられるが毎年減少してきている。蛭虫については、小中学校に僅かながら増加がみられた。(表4)

表3 幼児・児童・生徒の結核被患率 (単位%)

学校種別	男女別		女	
	昭和34年	44年	34年	44年
幼稚園(5才児)	0.12	0.09	0.12	0.14
小学校	0.28	0.14	0.27	0.05
中学校	0.36	0.18	0.40	0.15
高等学校	0.33	0.12	0.39	0.25

表4 児童・生徒の寄生虫卵保有率 (%)

回 虫

学校別	年度		40年		41		42		43		44	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
小学校	4.6	3.5	3.3	2.6	3.3	2.8	2.3	1.8	1.8	1.5		
中学校	3.6	3.3	2.0	1.9	1.6	1.7	2.1	1.7	1.2	1.2		
高等学校	1.6	2.2	0.8	0.6	0.6	0.7	0.3	0.6	0.3	0.4		

十二指腸虫

学校別	年度		40年		41		42		43		44	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
小学校	1.3	1.1	1.2	0.9	0.6	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3	0.5	
中学校	2.1	1.8	1.6	1.4	0.7	0.6	0.7	0.6	0.4	0.4		
高等学校	1.0	1.1	1.0	1.0	0.5	0.4	0.4	0.5	0.4	0.1		

蛭 虫

学校別	年度		40年		41		42		43		44	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
小学校	0.6	0.7	0.9	0.9	0.7	1.0	0.9	1.0	2.0	1.9		
中学校	0.6	0.4	0.6	0.4	0.4	0.3	0.9	0.9	0.6	0.8		
高等学校	0.2	0.2	0.2	—	0.1	0.1	0.1	0.1	—	—		